

いまみ 緑のたより



ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/imajukuminami>

イマミの絆(きずな)

校長 江野澤 勝



菜の花の向こうに富士山が見えました

体育館前の梅の木が白い花を咲かせています。春一番の風が吹き、日一日と春の訪れを感じさせられます。保護者の皆様におかれましては、先日の今年度最後の授業参観、学級懇談会、学校説明会にお越しいただき、ありがとうございました。どの子ども保護者の皆様に参観してもらえることを喜びながら、頑張っている姿を見ていただけたのではないのでしょうか。6年生も卒業にむけ、一日一日をかみしめるように、過ごしています。

2月10日(金)には3組がお別れ遠足に出かけました。ここ2年はコロナ禍ということもあり、計画も立てづらいつころもありました。今年は、卒業を迎える6年生の希望に沿う形で、行先や活動を相談し、話し合いながら計画を進めていきました。シーバスに乗り、港の様子を見学し、みなとみらい方面に行きました。冷え込みも厳しい日でしたが、子どもたちの顔を見てみると寒さも忘れてしまうくらい笑顔を見せていました。高学年の子は下級生の友達に優しく声をかけながら歩き、電車の中の過ごし方も立派なものでした。電車がホームに近づくと、さっとリュックを前向きに直し、手を貸す姿や、さりげなく手を引く姿も、見ていて温かい気持ちになりました。困ったことがあったときには「たいじょうぶだよ」「心配しないでいいよ」と、即座に声をかける姿もあり、感動しました。「この子たちは本当に優しいな」と、いつも様々な場面で感じます。学年、性別にかかわらず、誰に対しても寄り添って接し、声をかけられる姿は、大人でもなかなか真似できることではありません。彼らが入学してからずっと積み重ねてきたことが、子ども同士の絆(きずな)となり、学級の絆になって、自然に言動に表れているのでしょう。いつまでもずっと大切にしてほしい、素晴らしいイマミの絆です。本当にうれしい限りです。

3月を迎えるにあたり、皆が自分自身の一年間を振り返り、今年経験した様々なことを自分の糧にしてほしいです。楽しかったこと、頑張ったこと、悩んだこと、そして、大変だったこと。一つ一つのことをどう受け止めていくかが大切なのだろうと思います。そのうえで、子どもたちが、「今年はこんなことを頑張ることができた」「4月に0年生になったら、こんな自分になりたい。こんなことを頑張りたい」等と、希望に満ちた顔で年度末を迎え、4月を迎えられることを願っています。

今年度も今宿南小学校の学校生活がより豊かなものになるよう、保護者の皆様、地域の皆様方には温かい目で子どもたちを見守り、支えていただきましたこと、心よりお礼申し上げます。今後とも、イマミっ子の健やかな成長にむけて、ご支援をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

3組お別れ遠足

2月10日に、お別れ遠足へ行きました。行き先は、卒業する6年生のリクエストで、横浜中華街とカップヌードルミュージアム。中華街へは、横浜駅から赤レンガ倉庫までシーバスに乗船しました。当日は雪の舞う寒い日でしたが、子どもたちは、船から見る街の景色に大興奮で、デッキへ出て観光しました。昼食は、横浜中華街で中華料理の会食でした。各自、好きな定食を注文。会計は一人ずつ支払って金銭の学習もしました。最後にカップヌードルミュージアムを見学して帰りました。5年生がグループのリーダー、副リーダーを務め、下学年の友だちをリードし、頼もしい姿を見せてくれました。みんなの思い出に残る楽しい一日となりました。

1年

2月21日に今宿保育園と清来寺幼稚園の園児と、交流がありました。

〇×クイズで、学校のことを紹介したり、ランドセルに、教科書を入れた状態で、背負う体験をしてもらったり、歌を歌ったり、教科書の内容を紹介したりしました。

園児を気遣う姿が、とても頼もしかったです。会の最後に、園児から「ありがとうございました」と言われると、自然と「どういたしまして」という言葉が出ていて、お兄さんお姉さんらしさを感じました。

また一つ、行事を通して成長する姿が見られ、2年生に向けて、さらにステップアップしました。

クラブ発表

来年度からクラブ活動に参加する3年生に向けて、4～6年生の各クラブが、活動内容を発表しました。ビデオや展示など、3年生に楽しんでもらうことができるよう各クラブ工夫を凝らした内容で、3年生の目はキラキラ輝いていました。

また、1月末には実際のクラブ活動の様子を3年生が見学して回りました。どのクラブも生き生きと活動しており、3年生は「どのクラブに入りたいか決められない!」「4年生になるのが楽しみ!」と待ち遠しい様子でした。

給食週間

今年度の給食週間では、給食委員会が中心になり「自分の適量を知って、毎日の給食をおいしく楽しく食べよう」と取り組みました。子どもたちは、自分の適量を知ることができ、ご飯やおかずの量を調整して、おいしく楽しく給食を食べることができました。

また、調理員さんと栄養士さんに感謝の気持ちをこめて、メッセージを書きました。子どもたちは、お礼の言葉を伝えるとともに、好きな給食について書いたり、栄養士さんに食材について教えていただいたことを書いたりしました。